

社協だより

ともに生きる

平成27年

No.82
10月号

社会福祉法人
幸田町社会福祉協議会

- 表紙の紹介は5ページ
- 備品貸出事業のお知らせ……………P2
 - かくしの広場……………P3
 - ボランティアだより……………P4・5
 - 地域包括支援センターだより……………P6
 - トピックス ● お知らせ……………P7
 - 赤い羽根共同募金にご協力お願いします！……………P8
 - アドリス変更のお知らせ

この広報誌は、皆さまからの会費と赤い羽根共同募金の配分金によって作成しています。

地域のおまつりや行事でご活用ください!

備品貸出事業のお知らせ

社会福祉協議会では、地域行事や学校行事、ボランティア活動等を目的とする方を対象に備品の無料貸出を行なっています。

【貸出の手続き】

1 社協窓口またはお電話で予約

〇月〇日に□□□を
借りたいです。

※予約が入っていないければ
当日の貸し出しも可能です。



2 社協窓口で 器具借用書に必要事項を記入



※借用書は借りる当日に記
入していただけます。
※借用書は社協ホームペー
ジからダウンロードでき
ます。

3 社協窓口で器具の受取

地域のおまつりや行事で使え
るレクリエーション用具やテ
ント等も取り揃えています。



4 返却日までに器具を返却



※貸出期間は原則1か月
以内です。

レクリエーション用具

公式輪投げ パワーボウリング ニチレクボール（屋内用ペタンク） チャレンジゴルフ
ガラッキー キンボール 釣りっこ 競馬でGO! たいこ相撲 オセロ 昭和スターかるた
ボールボードゲーム（屋内用グラウンド・ゴルフ、屋内用ゲートボール） 和太鼓 銭太鼓
思い出カルタ 着ぐるみ（トラ・ブタ・ウサギ・ペンギン） むかしのどうぐトランプ 囲碁
なるこ

福祉用具

車いす 点字器（大・小） アイマスク 白杖 高齢者疑似体験セット 携帯型ループアンプセット
※車いすの貸し出しは、介護保険サービスを利用してレンタルできる方には原則貸し出しができません。詳細はお問い合わせください。

炊き出し用具

はそりセット（カマド、ガスバーナー、圧力調整器、平釜、ふた）
大鍋 柄杓 網柄杓 陣笠柄杓 しゃもじ

その他の貸出用具

テント 簡単テント ガス発電機（ガスボンベタイプ） バルーン投光器 丸椅子 電気調理器
電気調理器鍋 クーラーボックス クーラーポット VHS・DVD一体型プレーヤー
移動式スクリーン プロジェクター

※それぞれ保有している数量は異なります。

問合せ・申込先 幸田町社会福祉協議会 電話 62-7171 FAX 62-7254



ふくしの広場



収集ボランティア “はあとふる” さんから ワンタッチで立てられるテントの寄付をいただきました。

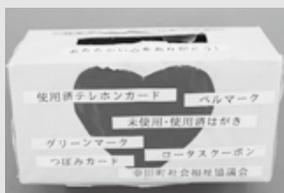
収集ボランティア “はあとふる” は使用済み切手や書き損じハガキなどの収集、整理を行うボランティアグループです。

今回、収集活動の収益金でワンタッチで立てられるテントを購入し、社会福祉協議会へ寄付していただきました。寄付していただいたテントは貸出備品として活用します。

地区や学校、子ども会などの行事やイベントにご活用ください。



収集ボランティア “はあとふる” のみなさんと寄付していただいたテント (テントサイズ3m x 6m)



引き続き収集活動へのご協力をお願いします。
ピアゴ、憩の農園、郵便局（大草、幸田、深溝）、役場、社協に収集箱が置いてありますので、今後とも収集活動にご協力をお願いします。

いきいきサロン 訪問記 No.14

今回ご紹介するサロンは 芦谷いきいきサロン 幸田町生活学校 です。
活動日時：毎週金曜日 午前9時30分～正午 場所：芦谷公民館

芦谷いきいきサロンは、幸田町内26か所のサロンの中で最も開催回数が多く、月に4回行なっています。

芦谷いきいきサロンでは、運営ボランティアの方が得意なことを生かして行われています。運営ボランティアの方は、ある時は折り紙の先生、ある時はブローチ作りの先生、ある時はハーモニカを吹きながら伴奏をする音楽の先生になります。

最高齢で93歳の参加者は、「歩いて30分かけてここに来るが全く苦にならない。そのくらい、サロンに来るのが楽しみではない。」と話されました。サロン内には笑い声があふれ、温かい雰囲気にもまれていました。



リズムに合わせて隣のお膝をポン！と叩きながら瞬発力を養っております。



ハンドベルで「ふるさと」を演奏中です。



今日はひ孫さんとサロンに参加中です。

問合せ先 幸田町社会福祉協議会 電話 62-7171

ボランティアだより

災害時ボランティア支援本部運営スタッフ養成講座

今後発生すると言われている巨大地震や、その他の自然災害への備えを平常時から行なっていくことが重要な課題となっています。幸田町社会福祉協議会では、災害時に集まるボランティアの受付・整理を行い、被災者のニーズを把握してボランティアと結びつける役割を担う災害時ボランティア支援本部を運営するスタッフの養成を進めています。

回	とき		内容(講義・演習)
1	11月 4日(水)	午前9時30分 ～午後0時30分	幸田町の防災体制について
2	11月11日(水)		災害ボランティア活動について
3	11月25日(水)		災害時ボランティア支援本部について
4	11月28日(土)	午前9時30分～午後3時	災害時ボランティア支援本部設置訓練

- ◇**ところ** 1日目～3日目：中央公民館第2・3会議室 4日目：福祉サービスセンター
- ◇**対象** 町内在住・在勤で4日間の日程に参加できる見込みの方
- ◇**申込み** 10月30日(金)までに幸田町社会福祉協議会へお申込みください。

あなたの声を使ったボランティアをはじめませんか？

朗読ボランティア「椿の会」は、「視覚」からの情報を得ることが困難な方々のために文字などを「音声」に換えて提供するボランティアです。幸田町内で配られる広報誌を音訳しています。これまでカセットテープへの録音でしたが、CDへの録音に移行するため、椿の会主催で講座を行います。声を使ったボランティアにあなたもチャレンジしてみませんか？

回	とき	内容(講義・演習)	
1	10月 6日(火)	午後1時30分 ～午後3時30分	パソコンの基礎講座 基本操作をおぼえよう
2	10月20日(火)		パソコンで録音するときの手順
3	11月10日(火)		
4	11月17日(火)		録音の復習 テータからカセットテープへ
5	12月 1日(火)		音楽CDを作成する方法
6	12月 8日(火)		まとめ
7	12月15日(火)		

全7回
毎回火曜日

- ところ** 幸田町立図書館 会議室
- 持ち物** ノートパソコン、USB、マイク(カラオケ用のものでOK)
※ご自宅にない場合は貸し出しできる場合もあるので一度お問い合わせください
- 対象** パソコンができる方歓迎
- 申込み** 幸田町社会福祉協議会へお申込みください。途中からの参加も歓迎です。



問合せ・申込先 幸田町社会福祉協議会 電話 62-7171

中学生がボランティア体験をしました

ボランティア活動を希望する中学生が夏休みを利用して、町内の福祉施設やいきいきサロンでボランティア体験をしました。高齢者や障がいのある方々とふれあう中で、新しい発見もあったようです。

北部中学校 2年 中西 将大

今回でボランティア福祉体験をするのは二回目になりました。長嶺・久保田いきいきサロンの体験場所に行く前に、僕は「自分から話を展開する」という目標を立てました。最初はなかなか難しかったのですが、だんだんと慣れてきていつの間にかたくさんのお話を聞いてしまいました。そのおかげで、前回よりも多くの話を聞くことができ、自分にとってプラスになったと思います。

回想フラワー作成では、グループになり、生まれた場所の景色、当時の遊びなどを聞くことができました。また自分たちの遊びと昔の遊びを比べてみると、自然を利用したものが多く、楽しそうでした。

もし、災害が起こってしまった時、高齢者の方々にいかに安定して早く安全な場に行ってもらえるかを考えました。今までは考えたこともなかったので、今回の体験がいざという時に役立つといいです。

今回の体験は、自分自身も北中生全体も充実した活動ができたので、良かったと思います。

幸田中学校 2年 加藤 万裕

私は夏休みに初めてつどいの家へ行きました。つどいの家では朝から1日中作業があります。つどいの家には障がいのある方が通っています。皆さんとても仲良しで、笑顔いっぱいでした。車いすを押してあげたり、みんなでお話したりととても良い雰囲気でした。通所している皆さんはその日その日に任された作業をこなすそうです。私達も一緒に作業をさせていただきました。この日の作業は、いろいろな部品を組み合わせる仕事でした。私は作業をやっているうちに手が痛くなり赤くなってしまいました。そんな時、一緒に作業をしていた方が「大丈夫？痛いよね。」

と言ってくださいました。とても嬉しくて頑張ろうという気持ちになりました。私も優しく声をかけることを学校生活で心掛けていきたいです。

南部中学校 3年 小田 大靖

僕が今回のグループホームおり姫での体験で学んだことが2つあります。

1つめは、常に笑顔で対応するということです。なぜかと言うと、高齢者の方と会話をする時、暗い声や顔で接すると相手に不愉快な気持ちにさせてしまうかもしれないからです。だから、僕は今回の体験では、笑顔を絶やさないことに気をつけて会話するようにしました。

2つめは、車いすに乗っている方と話す時には立ったまま話すのではなく、視線を合わせて話をするように心がけました。理由は、立ったまま話をするということは、話し手が上から目線で話すことになり、話している相手に失礼だと思うからです。だから、僕は、相手の視線よりもさらに低くなるように姿勢を取り、話をしました。

今回の体験を通して、相手の気持ちに立つことの大切さを改めて考えることができました。中学校3年間、福祉ボランティア活動に継続して取り組むことができ本当に良かったと思います。

表紙の紹介

8月7日(金)に北部中学生9名がボランティアとして参加した長嶺・久保田いきいきサロン向上の会での1コマです。写真で皆さんが手に持っている箱は、学区の文化芸能祭にサロンが出品する作品「長久ハッピータワー」の部品となるものです。これは「楽しい」や「嬉しい」などプラスのエネルギーを込めて、サロン参加者や関係者が1つずつ手作りしているもので、これを円すい状に積み上げて3メートルのタワーにします。この日は中学生が参加者と一緒に「願い」や「夢」をテーマに作成しました。

→災害時に備えて、高齢者を背負って安全な場所に避難する訓練も行いました。



地域包括支援センターだより

人がつながる 地域がながる **ふくし** の仕組みづくり

地域包括支援センターでは、「**ふ**だんの **く**らしの **し**あわせ」のために、様々な人や関係機関等と一緒に、高齢者の方々の暮らしを支える仕組みづくりに取り組んでいます。

「ふくし座談会」

地域の民生委員やケアマネジャー、在宅介護支援センター、行政・社協職員が、小学校区単位で地域の福祉課題について話し合いました。地域の福祉資源を活用し、互いに助け合えるまちづくりを地域に発信できるよう調整し、講座や教室の開催につなげています。



「男のためのからだメンテナンス教室」

70歳前後の男性限定による運動教室を、理学療法士と一緒に開催しました。運動仲間を見つけ、教室終了後も一緒に健康づくりを目指す自主グループを立ち上げ、活動しています。



「介護予防（げんきかい）」

概ね60歳以上の方を対象に、地域別に4会場月に1回ずつ開催しています。現在は合計100人を超える参加者が、運動やお口の体操、頭の体操等を行ない、要介護や要支援とならないように介護予防に取り組んでいます。



秋も深まる頃、認知症サロンでひと休みしませんか？

認知症サロンは、認知症の方を介護するご家族の相談やいこいの場です。

温かい飲み物を飲みながら、日頃思っていることを先輩介護者や専門職のスタッフに少しお話してみませんか。ご本人にはボランティアが回想法（昔のことをお話して脳を活性化させる方法）を行います。お気軽にお立ち寄りください。※事前のお申し込みは必要ありません。

とき 10月24日（土）午後1時30分～午後4時（時間内の出入りは自由です）

ところ グループホーム おり姫（幸田町大字大草字山添15）

対象 町内在住の認知症の方とその家族及び支援者

参加費 100円（お茶菓子代）

内容 ① 認知症の人とその家族の交流 ② 認知症に関する相談

問合せ 幸田町地域包括支援センター ☎62-7331



高齢者や介護に関する悩みや疑問など…なんでも気軽にご相談ください。

幸田町地域包括支援センター 電話 62-7331

トピックス

Topics

幸田町総合防災訓練

9月5日（土）、幸田町防災広場にて、幸田町総合訓練が行なわれ、社会福祉協議会も関係団体の協力のもと、訓練を実施しました。

災害時ボランティア支援本部設置訓練

災害時ボランティア支援本部とは、大規模災害時にボランティア活動を円滑に進めるための拠点となるところです。訓練参加者が実践に即して、ボランティア役と運営スタッフ役に分かれ、ボランティア支援本部の運営手順を確認しました。



炊き出し訓練

幸田町赤十字奉仕団員が、はそりを使い450人分の豚汁を調理しました。普段使わない大きな器材を使っての調理は、簡単ではありませんでしたが、災害時を想定して、器材の使い方を確認しながら調理から配膳までの流れの訓練を行ないました。



平成27年度 幸田町社会福祉大会を開催します

社会福祉大会は、社会福祉関係者が一堂に集まり、お年寄りの長寿を祝い、また社会福祉功労者を顕彰するとともに、新たな決意をもって地域福祉の充実に努めることを目的に開催いたします。

関係者の方のご出席をお願いいたします。

◇と き

平成27年11月26日（木） 午後1時30分～

◇と ころ

町民会館 つばきホール

◇内 容

幸田町社会貢献活動感謝状贈呈
幸田町社会福祉協議会会長表彰状・感謝状贈呈
白寿、米寿、ダイヤモンド婚、金婚を迎えられる方々のお祝い 等

◇問合せ先

幸田町社会福祉協議会 電話62-7171

お知らせ

Information

ご寄付ありがとうございました

H27. 6.17—H27. 9. 9

(順不同・敬称略)

●現金

株幸田セントラルポウル	40,950円
株石原組従業員一同	4,400円
合同会社筆柿の里幸田	21,169円
幸田町仏教会	20,912円
親子文化を育てる会	2,000円
手嶋光好(野場)	7,616円
匿名	23,120円

●物品

- ・竹ぼうき200本
(株)タケヒコ産業
- ・ワンタッチイベントテント1張
収集ボランティア“はあとふる”



赤い羽根共同募金

にご協力をお願いします！

募集期間10月1日～12月31日

平成26年度実績額 **4,742,416円**

この内、約84%が幸田町を良くする活動に使われます。

本年度も共同募金運動が全国一斉に始まります。この運動は住民相互のたすけあいを基本とし、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう支援することを目的としています。

区長さんを通じて各家庭に募集をお願いしています。また、街頭や職場、学校などで重ねてお願いすることもあるかもしれませんが、趣旨をご理解の上、皆さまのご協力をお願いいたします。

寄付金に、税の特典があります！

- 会社など法人の寄付金は全額損金算入できます。
- 個人の寄付金は「所得税」「個人住民税」に対する税制上の優遇措置の適用を受けることができます。



皆さまの温かいご支援、ご協力をお願いいたします

第67回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール優秀作品の展示

- とき 10月14日(水)～10月21日(水)
午前9時～午後7時(初日は午後2時から、最終日は正午まで)
- ところ 幸田町立図書館ギャラリー

愛ちゃん と 希望くん



皆さまお誘い合わせの上、ぜひご覧ください。

問合せ先 幸田町共同募金委員会 電話 62-7171

アドレス変更のお知らせ

幸田町社会福祉協議会のホームページアドレスとメールアドレスが変わりました
新ホームページアドレス <http://kotashakyo.jp/> 新メールアドレス info@kotashakyo.jp

「ブックマーク」「お気に入り」またはリンクを張っていただいている皆さまには、お手数ですが変更をお願いいたします。

編集・発行

社会福祉法人 幸田町社会福祉協議会

〒444-0113 愛知県額田郡幸田町大字菱池字錦田82-4
電話 (0564) 62-7171 F A X (0564) 62-7254
居宅介護支援事業所 (0564) 64-1069 訪問介護事業所 (0564) 83-7273
地域包括支援センター (0564) 62-7331
メール info@kotashakyo.jp
ホームページ <http://kotashakyo.jp/>



この広報誌は地球にやさしい再生紙を使用しています。